

和歌山県言語聴覚士会

News Letter 第43号

VOL. 43 2022年12月

挨拶	1	本紹介	5
各局活動報告	2	新入・退会・異動等会員情報	6
研修会に参加して	2	議事録要約	7
紀の国会よりお知らせ	3	広告	13
新入会員挨拶	4	編集後記	14
STの仕事って楽しい!?	5		

挨拶

副会長 訪問看護ステーション中紀 天野 哲弥

先日、久しぶりに基礎講座「職種間連携」の講義をしました。昨今は職場での連携だけでなく、職場以外での連携と参加が求められています。地域市町村でも始まりつつある地域包括ケアシステムにおいては、地域ケア会議でケアマネージャーが適切なサービスを立案できるよう ST ならではの提言が必要です。地域リハ活動では、和歌山つれもて健康体操で口腔嚥下について地域の方に講義と実演をしなければなりません。いずれも一人前のセラピストならのできることで、三士会合同の地域包括ケアシステム地域リーダー研修で内容を知っておいてください。

また、職種間連携といえは災害リハも地域や医療圏域単位で活動することになりますので、普段から地域の多職種の集まりなどに顔を出しておくことも大事です。勤務業務以外の仕事ですが全国的な取り組みです。しかし、県士会活動はどれも人手が足りていません。特に若い世代からご助力いただければ幸いです。

各局活動報告

財務局 愛徳医療福祉センター 中武 夕真

財務局では、年会費の徴収管理や各局の予算管理などを行っております。この場をお借りして来年度の年会費納入先変更と自動払込制度中止のお知らせをさせていただきます。

今年度までは「ゆうちょ銀行」へ納入をお願いしておりましたが、来年度より年会費の納入先を下記口座へ変更する予定にしておりますので、ご確認をお願いいたします。

PayPay 銀行

普通

店番 005 ビジネス営業部

口座番号 3611320

また、ゆうちょ銀行使用中止に伴い、自動払込制度も同時に中止となりますので皆さま PayPay 銀行にお振込みいただきますようよろしくお願いいたします。

研修会に参加して

和歌山ろうさい病院 西山 実来

今回は「臨床業務のあり方・進め方」、「職種間連携」の基礎講座に参加させていただきました。臨床を行うにあたり、法律から臨床の流れ・業務内容・リスク管理・職種間連携について再度確認することができました。

「臨床業務のあり方・進め方」では、言語聴覚療法から臨床の進め方について、リスク管理では近年流行っている新型コロナウイルスの感染防止対策まで講義していただきました。「職種間連携」では他職種の役割を知ることがチーム医療を行う際に言語聴覚士の役割を理解することに繋がり、円滑にチーム医療を行えると学びました。

基礎講座で学んだことを今後の臨床で実践していきたいです。

紀の国会よりお知らせ

—ご存知ですか？「紀の国会」

和歌山失語症友の会「紀の国会」は1992年に創立し、30周年を迎えました。紀の国会は、いくつかの病院のSTと失語症のある方数名で友の会の必要性を感じて創った当事者団体です。現在の会員数は8名（男性7名 女性1名）です。脳卒中の予防医学が進み、失語症の発症が減り、介護施設が担う役割が増える中、全国的にも多くの失語症友の会が役割を終えました。紀の国会でも会員数の減少が問題となっており、会を維持していく難しさを感じています。とはいえ病院でのリハビリを終えたあと、理解ある環境で主体となって活動できる場は必要です。紀の国会でもそれぞれが挨拶、企画、会計などできることを進んで行っており、失語症のある人が社会の一員として活動できる場としての役割を感じます。

紀の国会の例会は、毎月第3土曜日の14時から16時まで和歌山市ふれ愛センターで行っています。4月に総会を行い、通常の例会の他、和歌山城さつき見会、講演会、バス旅行、クリスマス会、新年会等のイベントも行っています。STはボランティアとして、連絡や運営のサポートをしています。

2019年からは、失語症者向け意思疎通支援者養成研修の研修生が紀の国会で実習しており、会員と様々な活動と一緒にすることで、失語症や失語症のある方への理解を深めています。研修を終えた方は、失語症のある方の意思疎通支援者として活躍されることになっています。会に参加する会員やSTと関わる中で学んだことを今後、地域で暮らす失語症のある方々をサポートする際に活かしていただきたいと思います。また、研修生の参加が多くの方に失語症や失語症のある人のことを知ってもらうことにも繋がっています。

まずは和歌山のSTに紀の国会を知って頂き、失語症のある方に紹介していただけると嬉しいです。事前にご連絡頂ければいつでも見学していただけます。よろしくお願いいたします。（紀の国会事務局）

研修生も入ってグループで話し合い



【連絡先】

社会医療法人スミヤ
角谷リハビリテーション病院内
和歌山失語症友の会「紀の国会」事務局
TEL 073-475-1230

新入会員挨拶

角谷リハビリテーション病院 五味 依都乃



今年度より、角谷リハビリテーション病院に入職いたしました五味依都乃と申します。患者様にとって最善のアプローチができているのか、改めてリハビリテーションの難しさを痛感する日々です。先輩方にご指導、アドバイスをいただきながら奮闘しております。一人一人しっかりと向き合い、自分自身も成長し続けられるよう、励みたいと思います。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

貴志川リハビリテーション病院 佐藤 花



今年度より、貴志川リハビリテーション病院に入職いたしました佐藤花と申します。入職して半年が経ち、毎日勉強の日々であつという間に1日が過ぎてしまいます。患者様の生活を考えた上でのリハビリは悩むことも多いですが、とてもやりがいを感じております。先輩方から学ばせていただくことも多く、学んだことを患者様に還元できるよう、精進していきたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

白浜はまゆう病院 木村 朱里



今年5月に白浜はまゆう病院に入職した木村朱里と申します。仕事にやりがいを感じており、今以上に立派な言語聴覚士になれたらいいなと思っています。今後も日々勉強だと思つるので頑張ります。

STの仕事って楽しい!?

このコーナーでは、会員が日常の中で『STの仕事って楽しい』と思う事についてエッセイを掲載しています。

新宮医療センター 加藤 志帆

『患者様の笑顔』や『治療効果』、『多職種連携が上手くいった』等々ほどの職場も同じと思います。私は、急性期病院で勤務しています。訓練対象の多くは成人の脳血管疾患です。発症当初、意識障害が強く呼び掛けに返答がないこともざらです。新人の頃はそういった患者様に戸惑い、悩んだこともあります。今は患者様の回復に寄り添えるようになりました。焦らず、日々の臨床の中でポツと出た反応を見逃さず…。

この仕事の醍醐味は様々な人の話を聞けるということです。私が経験したことのない場所のお話、仕事のお話、歴史のお話。私自身の年齢や私生活とも相まって背伸びなく無理せずに会話を楽めるようになってきました。日々の業務の中、患者様の名前は忘れてしまいましたが、患者様の顔と背景は意外にもしっかり覚えているものです。また、私のもう一つの楽しみは、突然の発症でナーバスになっている患者様が、前向きになった瞬間とても嬉しい気持ちになります。最初は「もう死んだも同じ」とネガティブな発言の患者様が、回復期病院へ転院する日には「家に帰るために頑張るよ」なんて言葉を聞いたら「頑張ってるよ」と硬い握手をせずにはいられない心境です。

本 紹 介

本紹介をリレー方式で行っています。自分が読んでみて「おもしろかった!」「参考になった」など感じた本をご紹介いただいています♪

貴志川リハビリテーション病院 佐藤 花

題 名：「ママと叫べない君と」

著 者：えぬくんママ

出版社：KADOKAWA

みなさんは自閉症のお子さんを持つ方がどんな子育てをされているかご存知ですか？私は今まで、発達障がいを持つ方に会ったことはありますが、その方の生活はまるで知りませんでした。しかし、最近は YouTube で障がいを持つお子さんとの日常を発信している方が多く、その中でもえぬくんママという今回私が紹介する「ママと叫べない君と」という本を書いている方の動画をよく見ます。

この本はえぬくんという、自閉症と知的障害を持つ今年6歳の男の子の子育てに奮闘するえぬくんママの本です。この本では、えぬくんの障がいがかかった時の気持ちや、えぬくんママの育児法、えぬくんがいたことで変化した価値観や喜びなどが書かれています。現在の私と重ね合わせるところは何もありませんが、えぬくんの成長を一緒に喜んでいきます。本を読み、勝手ながらより一層、えぬくんの成長をみたいと感じました。みなさんもぜひ読んでみてください。

*次回は角谷リハビリテーション病院 五味依都乃先生にお願いしています。

新入・異動・退会等会員情報

(令和4年11月30日現在)

<新入>

- 336 佐藤 花 (貴志川リハビリテーション病院)
- 337 木村 朱里 (白浜はまゆう病院)
- 338 五味 依都乃 (角谷リハビリテーション病院)

<異動>

無し

<退会>

無し

現在の会員数

正会員： 161名 学生会員： 0名 賛助会員：1名1団体

※氏名、職場、自宅など連絡先に変更がある場合は、必ず事務局までお知らせください。
郵便物が届かなくなる恐れがあります。

事務局：琴の浦リハビリテーションセンター 言語療法室内
TEL：073-481-4522 FAX：073-444-9792
mail:wakayama_st_jimu@yahoo.co.jp



議 事 録 要 約

令和4年度第3回理事会議事録

開催日：令和4年9月1日（木）19:00～20:15 Zoom 会議

参加者：古久保 天野 岩本 静 山本 青木 中武 土井 尾藤 中瀬 前島 監事：山崎

○古久保会長

7月13日 JRAT 会議参加 (Zoom)

○天野副会長

7月2日 日本言語聴覚士会春期都道府県士会会長会議出席 (Zoom)

7月23日 失語症者向け意思疎通支援者養成講座挨拶

○岩本副会長

新理事名刺を作成予定

○社会局 静理事

8月3日（水）第27回和歌山県病院協会学術大会プログラム委員会出席 プラザホープ3階

テーマ「持続可能な医療を目指して」場所：ホテルアバローム紀の国 第5会場 第2群

座長：山崎先生 会場係：梅本会員、静、那賀病院から スタッフ2名 古久保会長出席

第26回和歌山県病院協会学術大会 最優秀賞選出

11月19日（土）ふれあい人権フェスタ 2022 参加予定

○学術局 青木理事

10月9日 令和4年度成人分野症例検討会

プログラム：症例検討3例、ミニレクチャー（失語症関連）静理事

形式：オンライン（ハイブリッド）場所：公立那賀病院

生涯学習プログラムポイント対象申請

第一回和歌山県言語聴覚士会学術集会について

テーマ：「臨床について熱く語ろう！！」

日時：3月26日（日）

プログラム：一般演題（新人（3年目以下）、小児、成人）それぞれ3演題程度

成人シンポジウム

小児特別講演：中川信子先生

成人特別講演：板倉登志子相談役（角谷リハビリテーション病院）

形式：オンライン（ハイブリッド）場所：公立那賀病院

参加費：会員無料、学生無料、非会員3000円

企業：宮源、フードケア

○広報局 土井理事

8月末機関紙第22号を発行、ホームページへ掲載。Facebook、Instagramを更新。
失語症者向け意思疎通支援者養成研修の内容をInstagram、Facebookへ掲載。
ホームページの会員専用ページについて費用は5万円必要。管理費は追加料金なし

○地域支援局 尾藤理事

1. 令和3年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修補習

日 時：7月16日（土）14:00~16:30 和歌山市ふれ愛センター
参加者：受講者7名、会員4名

2. 令和4年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修

日 時：7月23日（土）9:00~17:00 和歌山県勤労福祉会館プラザホープ
参加者：受講者6名、県事業担当大内様、天野副会長、会員9名

日 時：7月30日（土）10:00~15:00 和歌山国際厚生学院
参加者：受講者6名、松井学科長、会員5名

日 時：8月20日（土）9:00~16:00 和歌山市ふれ愛センター
参加者：受講者9名、会員6名

3. 失語症サロンの開催「失語症の仲間と話そう」

日 時：10月8日（土）13:00~16:00 南コミュニティセンター
対 象：失語症者とその家族
内 容：自己紹介、小グループでお話会など

4. 2022年度失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修修了者の集い

日 時：7月23日（土）10:00~12:00 Zoom ミーティング
参加者：静理事、前島理事、和田会員、尾藤

5. 失語症者向け意思疎通支援者派遣事業利用登録を開始

県HP、県士会HPにチラシを掲載。市町村、振興局などにチラシを配布
利用登録申込書・派遣依頼書を県HP、県士会HPからダウンロードできるように設定予定

○教育局 中瀬理事

令和4年度生涯学習プログラム基礎講座予定

令和4年10月9日（日）

講座①：9:30~10:30

「臨床業務のあり方・進め方」 講師：岩本古城先生

講座②：10:45~11:45

「職種間連携」 講師：天野哲弥先生

参加費：和歌山県言語聴覚士会会員：無料

和歌山県言語聴覚士会非会員：1000円/1講座 非会員の定員は20名

○地域包括ケアシステム推進局 前島理事

1. WAKAYAMA つれもて健康体操への講師派遣

6月2日(木) 9:30~11:30 和歌山市宇田森(包括川永) 講師: 門由佳子先生

6月15日(水) 10:00~11:30 和歌山市島橋(包括野崎) 講師: 前島ちか

6月29日(水) 9:30~11:30 和歌山市吉礼(包括東山東) 講師: 門由佳子先生

2. 和歌山市自立支援型地域ケア会議へのアドバイザー派遣

6月23日(木) 13:30~15:40 地域包括支援センター野崎 アドバイザー: 西本千津先生

7月12日(火) 13:30~14:30 中央コミュニティセンター アドバイザー: 前島ちか

7月28日(木) 14:40~15:40 南コミュニティセンター アドバイザー: 山崎良一先生

3. 和歌山市地域ケア会議運営委員会への出席

7月26日(火) 10:00~11:30 市役所東庁舎3階第5会議室

8月26日(金) 16:30~17:30 WEB会議

4. リハビリテーション専門職団体協議会主催研修会への参加

令和4年度第13回訪問リハ・地域リーダー会議への出席

5月21日(土) 13:00~17:00 WEB会議

内容: 令和4年度実務者研修会の開催準備について、令和6年度同時改訂に向けた都道府県でできる取り組みについて等

出席: 前島ちか

5. 令和4年度訪問リハビリテーション実務者研修会(中央研修)への出席

8月20日(土) 13:00~18:30 WEB会議

内容: これからの訪問リハにおけるPT、OT、STの専門性、役割分担について など

出席: 前島ちか

6. 和歌山市包括支援センター高松主催ケアマネージャーネットワーク会議での講演

7月6日(水) 13:30~15:00

場所: 中央コミュニティセンター

内容: 失語症について(概論、コミュニケーション方法、支援について)

講演: 前島ちか

7. 令和5年度訪問リハ実務者研修会(和歌山県言語聴覚士会主催) 来年度予算に計上する。

令和4年度第4回理事会議事録

開催日：令和4年11月17日（木）19:00～20:25 Zoom 会議

参加者：古久保 天野 岩本 山本 静 土井 中武 尾藤 中瀬 監事：山崎

○古久保会長

11月6日 病院協会学術大会出席

11月9日 和歌山 JRAT 会議出席

11月12日 全国会長会議出席

11月16日 和歌山 JRAT 主催研修会参加

全国協会主催災害研修 12月10日、2月18日に辻本会員と参加予定

2023年3月5日（日）10時～12時に近畿交流会開催の予定（和歌山県士会主催）

○天野副会長

5年度総会開催方法について、前回と同じ Zoom で理事のみで行う

○岩本副会長

10月18日 三役会議開催

○事務局 山本理事

9月1日 言語聴覚の日 新聞広告掲載

○社会局 静理事

第27回和歌山県病院協会学術大会・和歌山県病院大会参加

開催日：令和4年11月6日（日）9:00～17:00

場所：ホテルアバローム紀の国

第5会場担当：梅本会員、静、他那賀病院から2名

座長：山崎先生 来賓：古久保先生

県士会から3名の演題発表

第28回和歌山県病院協会学術大会日程予定

開催日：令和5年11月3日（金・祝）

場所：ホテルアバローム紀の国

ふれあい人権フェスタ 2022 参加予定

日時：11月19日（土）10:00～16:00

場所：ビッグホエール

内容：相談窓口、DVD 上映

参加予定：和田会員、中瀬理事、梅本会員、静予定

○広報局 土井理事

会員専用ページについて 改良内容

- ・WordPress 会員プログラム
- ・WEB サイト、HTTPS セキュリティ強化
基本構築料5万円とhttps化4万円を承認

○財務局 中武理事

ゆうちょ銀行の解約、年明け作業実施予定

○地域支援局 尾藤理事

1. 令和4年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修

9月10日(土) 10:00~17:00 南コミュニティセンター

9月17日(土) 14:00~16:30 和歌山市ふれ愛センター

9月24日(土) 13:00~17:00 橋本氏産業文化会館

10月15日(土) 14:00~17:00 和歌山ビッグ愛

参加者：受講者5~8名、会員3~7名

2. 令和4年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修(選択科目)

10月8日(土) 9:30~16:00 南コミュニティセンター

10月29日(土) 10:00~16:00 勤労福祉会館プラザホープ

11月5日(土) 13:00~16:00 御坊市民文化会館

参加者：受講者5~7名、県事業担当大内様、会員8名

3. 令和4年度失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修

10月22日(土)、10月23日(日) TKP市ヶ谷カンファレンスセンター(東京)

オンライン参加(平岡会員、南会員、山元会員、小田会員、橋詰会員、木下会員、増田会員)

○教育局 中瀬理事

1. 令和4年度生涯学習プログラム基礎講座 令和4年10月9日(日)開催

「臨床業務のあり方・進め方」岩本吉城先生 11名参加(県内7名 県外4名)

「職種間連携」天野哲弥先生 10名参加(県内7名 県外3名)

協会に活動補助金申請済

2. 教育局のゆうちょ銀行を解約し、PayPay銀行に変更

3. 基礎講座講師に田中裕也先生を申請

○地域包括ケアシステム推進局 前島理事

1. WAKAYAMA つれもて健康体操への講師派遣

10月11日(火) 10:00~11:30 野崎地区会館(包括野崎) 講師:前島

10月21日(金) 10:00 宮前連絡所(包括宮前) 講師:前島

10月24日(金) 9:30~11:00 場所:和歌山市山口(包括川永) 講師:前島

10月24日(金) 13:30~15:00 地域ふれあいセンター虹(包括宮北) 講師:前島

10月28日(金) 10:00~11:30 福島住宅自治会館(包括野崎) 講師:前島

11月10日(木) 13:30~15:00 ほんまちえんがわはうす(包括城北) 講師:名手病院 田代会員

2. 和歌山市地域ケア会議運営委員会

9月30日(金) 16:30~17:30 WEB 会議出席 内容:今後の地域ケア会議の進行について

3. 今後の予定

WAKAYAMA つれもて健康体操への講師派遣

12月6日(火) 14:00~15:30 琴の浦リハビリテーションセンター 門会員

和歌山市自立支援型地域ケア会議へのアドバイザー派遣

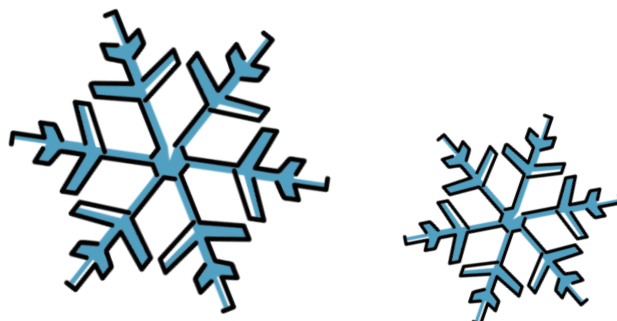
11月29日(火) 13:30~14:40 包括宮北アドバイザー:板倉登志子先生

12月12日(月) 13:30~14:40 包括東山道 特別養護老人ホーム大日山荘アドバイザー:未定

和歌山市地域ケア会議運営委員会への出席

11月25日(金) 16:30~17:30 WEB 会議

4. 備品のスクリーンが故障のため新品購入を承認



熱を加えずに
まぜるだけで
ムースゼリーが
すぐに作れます！

クイックゲル化食品

ミキサーゲル



ミキサーゲルで作るムースゼリーとは、「おいしさ」「やわらかさ」「まとまり」「適度な付着性」「経時的安定性」に優れた、安心・安全の食事形態です

泡だて器やスプーン等で混ぜる場合

ミキサーゲルを加え
1分程度かき混ぜます



しばらく
おきます
(3分以上)

再度かき混ぜムース
ゼリーに仕上げ
て出来上がり



添加量の目安 ●温かい食材の場合(40℃以上)0.5~1.0g
●冷たい食材の場合 1.5~2.0g

ミキサー使用の場合

食材にミキサーゲルを
加え攪拌
します
(30秒程度)



しばらく
おきます
(1分以上)

再度攪拌します
(30秒程度)



盛りつけて
出来上がり
(5分程度で安定
します)

添加量の目安 ●温かい食材の場合(40℃以上)0.5~1.0g
●冷たい食材の場合 1.0~2.0g

お湯を加えて
混ぜるだけ！
簡単に美味しい
粥ゼリーが
できます！



粥ゼリーの素

宮源のお粥

うるち米
国産米粉使用

- 簡易的嚥下評価のテストフードとしての利用
- でん粉分解酵素不使用で、お米本来の風味を味わえます
- お餅、お団子の代替としても最適です
- 2kgタイプは5年間の保存(賞味期限6年)が可能



① 計量して → ② 熱湯を加えて
かき混ぜます

「宮源のお粥」に対し
水(お湯)5~7倍



③ 出来上がり
*50度以下に冷め
るとゼリー化します



2Kg

賞味期限
6年



賞味期限
3年半

お手軽パック

「おうちで作る
かご食の本」



監修
黒岩 恭子
藤谷 順子
飯野登志子

A5オールカラー
32ページ

困ったときにひらく本
「嚥下食Q&A」



監修
藤谷 順子
増田 邦子

A5オールカラー
24ページ

お問い合わせは

073-455-1711

FAX 073-455-1211

宮源 検索

詳しくはネットで検索 HPIはこちら

株式会社 宮源

〒640-8403 和歌山県和歌山市北島 332 番地
http://www.miyagen.net/

MiyaGen

食べる喜びを大切に

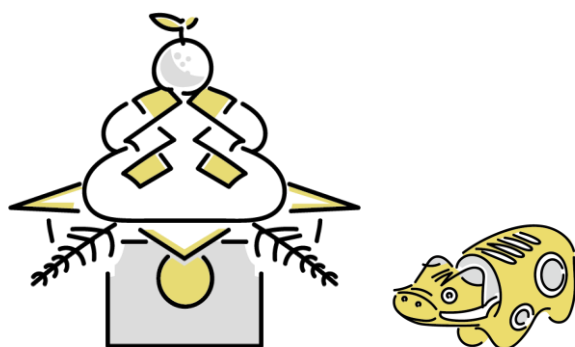
〔編集後記〕

今回も広報紙発行に際しまして、お忙しいところ多くのご寄稿、ご協力を賜りありがとうございました。いまだ COVID-19 の感染拡大は第七波、第八波と止まず、会員の皆様方におかれましても、感染対策に取り組む日々が続いておられることと存じます。そのような毎日の中、先日開催されたサッカーワールドカップでの日本代表の活躍は、苦しい状況が終わらない日常の中に、明るいニュースとして花を咲かせてくれたように思います。

県士会活動も、会員の皆様方や ST にかかわる当事者の皆様方に、明るい日常を提供できるものとなれば幸いです。お知らせしたい事項がございましたら、ぜひ広報局までご連絡ください。

寒さ深まる季節となりましたが、皆様が健やかに新しい年を迎えられますことをお祈りいたします。来年も県士会活動を何卒よろしく願いいたします。

(白浜はまゆう病院 広報局員一同)



発行：和歌山県言語聴覚士会
会長 古久保 良

事務局：社会福祉法人
琴の浦リハビリテーションセンター
〒640-0014 和歌山市毛見 1451
TEL：073-444-3141

編集：広報局
(公財)白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 1447 番地
TEL：0739-43-6200
FAX：0739-43-7891